

## ライフキャリア教育かながわモデル発信事業の検証・見直しについて

ライフキャリア教育は、男女プラン（第4次）の重点目標4「男女共同参画社会の実現に向けた意識改革と基盤整備」の施策の基本方向2「子ども・若者に向けた意識啓発」に位置付けられている。

### 1 事業の目的と見直し

- ・就職前の若年層（高校生・大学生・中学生）を対象に、固定的な性別役割分担意識に捉われず、自身の個性や適性に応じたライフキャリア（仕事を含めた生涯にわたる生き方）を考える機会を提供することにより、男女ともに自らが望む生き方を選択できるようにすることをめざす。
- ・R4年度に実施する5年ごとの事業の時限点検に先立ち、今後の方向性についてご意見をいただく。

### 2 これまでの取組み

	ライフキャリア教育 スタート、大学への 授業案の普及啓発	高校向けの 取組みスタート、 連携大学の拡大	高校・大学への普及 促進、連携大学の 更なる拡大	中学向け取組みスタート、 県内高校への更なる 普及促進
	H25～26	H27～H28	H29～H30	R元～R3
大学	<b>【H25】</b> ○大学、NPO、国及び県等で組織する「大学における男女共同参画プログラム検討委員会」を設置し、男女共同参画の視点によるライフキャリア教育授業案を作成  <b>【H26】</b> ○授業案を活用した授業実施 ○啓発イベント・情報交換会の実施 ○啓発冊子・リーフレットの作成 等	<b>【H27】</b> ○啓発イベントの実施  <b>【H28】</b> ○啓発冊子の作成、配布 ○視聴覚教材（導入編）など、アクティブ・ラーニングの手法を使った教材の作成 ○出前講座の実施	<b>【H29】</b> ○視聴覚教材（発展編）の作成 ○啓発冊子の印刷配布 ○外部講師派遣  <b>【H30】</b> ○ロールモデル事例集（拡充版）の作成 ○啓発冊子の印刷配布 ○視聴覚教材の普及啓発 ○外部講師派遣	<b>【R元】</b> ○啓発冊子等の印刷配布 ○外部講師派遣  <b>【R2】</b> ○啓発冊子の印刷配布  <b>【R3】</b> ○啓発冊子の印刷配布 ○外部講師派遣
高校		<b>【H27】</b> ○啓発冊子、リーフレットの作成  <b>【H28】</b> ○啓発冊子等の印刷・配布	<b>【H29】</b> ○啓発冊子等の印刷配布 ○教員向けリーフレットの作成、配布 ○出前講座のモデル実施  <b>【H30】</b> ○視聴覚教材の作成 ○啓発冊子等の印刷配布 ○出前講座のモデル実施	<b>【R元】</b> ○啓発冊子の改定、配布 ○教員向けリーフレットの改定、配布 ○出前講座のモデル実施  <b>【R2】</b> ○啓発冊子の印刷配布 ○教員向けリーフレットの印刷配布  <b>【R3】</b> ○啓発冊子のデータ配布
中学				<b>【R元】</b> ○プログラム・教材の開発 <b>【R2】</b> ○教員向けリーフレットの作成、配布 <b>【R3】</b> ○プログラムの周知啓発

※R2年度、3年度は、コロナ禍を受け、高校・中学での出前講座は見送り

### 3 事業の成果、課題、今後の取組みの方向性

#### (1) 大学向けの取組み (県内 68 大学)

○大学が実施するライフキャリアの授業等を支援するため、外部講師派遣、啓発冊子及び視聴覚教材等による普及啓発を実施してきた。

##### 【成果】

##### ○外部講師派遣講座への高い満足度

- ┌ R元年度…2大学へ5回派遣を実施(学生約758人)
- ├ R2年度…コロナ禍を受けて外部講師派遣実施せず
- └ R3年度…1大学へ2回派遣を実施(学生約180人) ※R3年10月時点

・外部講師派遣を実施した大学でのアンケート結果によると、講座に参加して「良かった」と感じた学生、この講座が「今後の参考になる」と答えた学生はそれぞれ約9割であり、学生の満足度は非常に高い。就職を間近に控えた大学生にとって、ライフキャリアは関心の高いテーマであると考えられる。

##### ○県内大学へのライフキャリア教育の広がり

・H25以降、計47大学(県内68大学の約7割)が県と連携してライフキャリアの取組みを実施した。

##### 【課題】

・オンライン授業など、コロナ禍での授業スタイルに合わせた取組みを進める必要がある。

##### 【今後の取組みの方向性】

- ・県内大学の約7割が県と連携したライフキャリア教育に取り組み、一定の広まりが見られたことから、引き続き、教材の普及啓発や外部講師派遣の継続等により、大学の取組みを後押しする。
- ・また、令和3年度に引き続き、オンライン形式など大学の希望に合わせて柔軟に講座等を実施する。

#### (2) 高校向けの取組み (県内 238 校 ※一学年あたり生徒約 70,000 人)

○アクティブ・ラーニングの手法を使い、啓発冊子等を活用した出前講座を実施した。また、出前講座の実施状況をリーフレットの形にまとめ、好事例として県内高校へ配布し、高校における授業実施の参考としてもらった。

##### 【成果】

##### ○出前講座への高い満足度

- ┌ R元年度…2校で3回出前講座を実施(計487人)
- └ R2年度、3年度…コロナ禍を受けて出前講座実施せず。

・R元年度出前講座受講生の8割以上が「大いに参考になった」または「多少参考になった」と回答。また、教員の8割以上が「生徒にとって参考になった」と回答。

##### ○冊子を授業・HRで活用した学校は多くないものの、冊子の分かりやすさについては高評価

- ・R元年度は53.1%(129校)がアンケートに回答。
  - うち授業又はHRで活用したのは20.1%(26校)、配布のみを行ったのは55.8%(72校)。
  - 冊子について「理解しやすい」「ある程度理解できる」と回答したのは73.6%(95校)。
- ・R2年度は約9.1%(22校)がアンケートに回答。
  - うち授業又はHRで活用したのは59.1%(13校)、配布のみを行ったのは31.8%(7校)。
  - 冊子について「理解しやすい」「ある程度理解できる」と回答したのは90.9%(20校)。

##### 【課題】

・多忙な学校現場において、授業の中に新たにライフキャリア教育を取り入れてもらうことが困難。

### 【今後の取組みの方向性】

- ・周知の強化

冊子1冊全てではなく、1つのセクションのみを授業の導入として活用していただくなど、柔軟な活用方法を提示する。

教育委員会、私学協会等とも連携しながら各学校へ冊子の活用等に係る周知を行っているが、R4年度以降も、引き続き協力しながら周知を行う。

- ・今後のデジタル化の推進

高校でのICT(Information and Communication Technology)の活用状況にあわせて、教材の構成や活用方法を検討していく必要がある。

### (3) 中学向けの取組み (県内524校 ※一学年あたり約68,000人)

#### 【成果】

##### ○プログラムの作成・試行の実施

R元年度に「ライフキャリアすごろく」「未来の自分にインタビュー！」の2つのプログラム・教材を開発し、2校にて試行した。

#### 【課題】

・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止等のため、出前講座の実施ができず、本格的な周知啓発ができなかった。

### 【今後の取組みの方向性】

・出前講座の実施や好事例の発信により、広く普及するとともに、学校へのアンケートも行いながら、プログラム・教材を更新していく。

## 4 国の動向について

○ライフキャリア教育は、全国的に取り組むべき施策であることから、国へ提案を行っている。